



Think Automation and beyond...

NEWS RELEASE

2008年3月12日

No. 広07度-28

地球環境に優しい、新建屋。省エネ・CO₂削減を追求。 世界初“全館LED照明”を実現！！

◆ 一部LED化の建物は数多く存在するが、全館LED化は世界初！ ◆

〈鹿島建設㈱調査による〉

IDEC株式会社(社長:船木俊之)は、このたび地球環境に優しく、省エネ・CO₂削減を追求・実現した、世界初の全館LED照明の新建屋(IDEC SALES OFFICE)を、3月6日に竣工しました。

新建屋計画に際し、グローバルな視点からIDECのSR(社会的責任)として”貢献できることは何か”を熟考した結果、世界的な地球環境保護の意識の高まりを感じ、温室効果ガス削減に向け、それを現実にかたちとする“地球環境に優しい建屋”をコンセプトとしました。

チャレンジしたのは“世界初の全館LED照明による、省エネ・CO₂削減ビル”です。日本のものづくりを標榜する企業として、世界に先駆けてフォトニクス・オプトエレクトロニクス、高度制御技術など、IDECのテクノロジーを結集し、全館LED照明を実現しました。

IDECは、創業以来、制御機器製品を開発・生産し広く産業界に提供しており、1981年から高品質・高輝度・高信頼性の産業用LED表示機器を開発、以来、27年間で*1億5千7百万台のLED表示機器を出荷し、産業現場の「省エネルギー、省メンテナンス」を実現し、通算*約47万トンのCO₂削減にも貢献しております。(※2008/3/27改訂)

今回の、新建屋・LED化の実現は、IDECの世界最光束クラスの明るさを持つ、高輝度・高効率サンシャインLEDに制御技術を擦り合わせて制作した、トータル1万1千個のLEDデバイス(25万個のLEDチップ)を搭載した、室内照明から駐車場照明・ガーデン照明にいたるLED照明です。

全館LED化により、地球温暖化対策(CO₂削減)・有害物質全廃(蛍光灯水銀)・廃棄物削減を実現。今後、テクノロジーイノベーションビルとして、更なる進化を続けます。

【“全館LED照明”新建屋(IDEC SALES OFFICE) 環境への貢献】

- ① 地球温暖化対策 : 電力使用量 = 63,000Kwh 減 (154,000Kwh→91,000Kwh)
《年41%削減を実現》 CO₂ 排出量 = 27トン減 (66トン→39トン)
原油換算量 = 16KL 減 (39KL→23KL)
- ② 環境有害物質全廃 : 蛍光灯を使用しないため、蛍光管内の水銀をシャットアウト。
- ③ 廃棄物大幅削減 : LED照明は蛍光灯に比べ寿命が5~6倍と長寿命のため、蛍光管の交換、器具劣化に伴うメンテナンス工数の大幅削減と、それに伴い発生する廃棄物の大幅削減を実現。

【新建屋 (IDEC SALES OFFICE) 概要】

- ① 2階部分がオフィススペースで、IDECグループのセールス部隊が集結。グループ各社が垣根を取り払い相互に情報交換できるよう、間仕切りを一切設置しないオープンでゆったりとした空間を実現。外光を大量に取り入れるため中庭面した部分はすべてガラス張りとし、常に緑が目に入るよう配慮した開放的な空間設計を実現。
- ② 1階は、玄関・エントランス部分に加え、ショールーム「IDEC Solution plaza」を設置。IDECグループのテクノロジー&システムを展示し、IDECのタグライン“Think Automation and beyond... (IDECはオートメーションを考え、更にその先へ...)”の実証ステージとして、トレーサビリティを始め、ユーザーへの各種ソリューション提案を実施。
その他、1階部分には物流スペース・駐車場などを設置。

◎名称	IDEC SALES OFFICE
◎所在地	大阪市淀川区三国本町 1-10-40
◎構造	鉄骨造 2階建
◎敷地面積	2,516.62 m ²
◎延床面積	2,379.54 m ²
◎設計・施工	鹿島建設株式会社

- ◆ オフィス棟向かいには、社員の健康増進を目的として、フィットネス棟を建設。
【オフィス棟と同じく全館LED照明を実現】

以上

* IDEC株式会社の概要 【旧社名:和泉電気株式会社】

- ・設立 : 1947年3月26日
 - ・資本金 : 100.6億円
 - ・売上 : 335.9億円(2007年3月期)
 - ・製造・販売製品: 制御機器、FA制御システム、オプト関連機器、防爆・防災システム、他
 - ・従業員数 : 連結1,664名(2007年3月31日現在)
 - ・上場取引所 : 東証・大証 第一部
 - ・本社 : 大阪市淀川区西宮原 1-7-31
-